

当社石岡工場における アルミ飲料用空缶製造設備の増設等に関するお知らせ

当社は、石岡工場（茨城県石岡市）内へのアルミ飲料用空缶製造設備の増設等について決定いたしました。概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. アルミ飲料用空缶製造設備増設等の目的

東洋製罐グループホールディングス株式会社は、2018年5月15日付で公表いたしました2018年度から2020年度までの3ヶ年計画である「東洋製罐グループ第五次中期経営計画」の基本戦略の一つとして、グループの主力事業である飲料缶・飲料ペットボトル事業を中心とした生産拠点をスクラップアンドビルドによって再配置するとともに、環境に配慮した新たな成形技術をはじめとして自動化・省人化などの技術を駆使した次世代スマートファクトリーによる事業運営体制の構築を掲げております。

このたび、当社は、アルコール飲料向けのアルミ缶の需要拡大にともなう生産能力増強を目的として、石岡工場にIoTを活用し、自動化・省人化を進めたアルミ飲料用空缶製造設備を増設することといたしました。

当社は、当該アルミ飲料用空缶製造設備において、製造工程における省資源・省エネルギー化の促進による環境負荷低減および新技術の導入による世界最軽量のアルミ缶製造の実現を目指しております。

なお、当社は、石岡工場の当該製造設備の稼働後、順次国内各工場に設置している既存のアルミ飲料用空缶製造設備においても、同新技術の導入・実用化を展開してまいります。

2. 設備投資の概要

- (1) 設備の概要 アルミ飲料用2ピース缶製造設備増設および省資源化・自動化・省人化対応
- (2) 所在地 石岡工場（茨城県石岡市柏原8-2）他
- (3) 総投資額 約120億円
- (4) 生産品目 アルコール飲料・清涼飲料向けアルミ2ピース缶
- (5) 稼働時期 2021年4月以降順次（予定）

3. 今後の見通し

当該新設備は2021年4月以降の稼働を予定しております。

以上